

## 東京医科歯科大学教養部 公開講座

### 「話すー児童生徒の保護者とわかりあうために」



イメージ写真（体験学習風景）

### 児童生徒の保護者と心が通じる対話をしませんか？

#### 体験学習でコミュニケーション力の向上を！

相手から「ほめ言葉」を聞くと嬉しくなるものです。でも、ときには、それを伝えた人の話し方や視線、そのときの様子によって「馬鹿にされた」と思うことはないでしょうか？

同じコトバでも、それを伝える声の調子、視線などによって、話し手の隠れた思いが伝わってきってしまうことがあるからかもしれません。人が話しているときには、耳で聞こえるコトバのほかに、目で見えるボディ・ランゲージも同時に送られています。ボディ・ランゲージのやっかいな性質は、話し手自身が意識しないまま、相手に伝わってしまうことです。

大事な児童生徒一人ひとりの成長のために、また、児童生徒のお父さん、お母さんがたと、言葉だけではなく、ボディ・ランゲージにも配慮しながら、互いに理解しあえる関係を取り戻すため、「**コミュニケーションの体験学習**」をなさいませんか？話題が盛り上がるように話すことと、ゆっくりと心を通わせながら話すこと、同じようにみえても違う点も多くあります。また、モノや情報をやり取りするときのコミュニケーションと、人と人が互いに通じ合うときのコミュニケーションもずいぶん違います。その違いを実際に体験なさいませんか？

「人と話す」、「人の話を聴く」ことは、エネルギーの補給という意味で、毎日の「食事」を摂ることと同じように、人間の健康な毎日にとって大切なものです。医療系専門家養成のためのコミュニケーション力の向上を実践する「東京医科歯科大学教養部行動科学」が、このたび、地域の学校の先生がたを対象に、公開講座としてコミュニケーション体験学習を行うことになりました。是非、ふるってご参加ください。

テーマ：「話すー児童生徒の保護者とわかりあうために」

日時：2007年8月3日（金） 13:00～15:30

場所：東京医科歯科大学教養部 ヒポクラテスホール

千葉県市川市国府台2-8-30

なお、キャンパス内の駐車場は無料をご利用いただけます。

募集人数：小・中学校教諭・養護教諭 20名程度

費用：無料

講師：東京医科歯科大学教養部 行動科学 准教授 中村千賀子

内容：カウンセリングの学習法を基本とする体験学習です。参加者同士、少人数のグループになって互いに話をしながら、自分の、人への姿勢、人と話すときの話し方などについて観察し、自分らしいコミュニケーションの課題を見つけていきます。

申込期間：7月13日（金）～7月20日（金） 期間延長する場合があります。

申込及び問い合わせ先：東京医科歯科大学教養部庶務掛 TEL：047-300-7103